令和6年度　江戸川区立小岩第二中学校　学校関係者評価報告書（学校経営計画・学校関係者評価シート）

学校教育目標	・進んで学び、協力し合う生徒の育成 ・規律を守り、責任を果たす生徒の育成 ・健康で思いやりのある生徒の育成		目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像	・期待感をもって登校し充実感をもって下校する学校　　・将来に対する夢や希望を育てる学校・社会人としての能力・態度を身につけることができる学校 ・進んで学び、協力し合う生徒　　・規律を守り、責任を果たす生徒　　・健康で思いやりのある生徒 ・教育公務員としての自覚をもち、自分をバージョンアップし続ける教師。
前年度までの本校の現状	成果	・全国学力調査において、国語が全国平均を上回ることができた。 ・エンカレッジルームの整備が進み、登校できる生徒が増え、不登校生徒の減少に結びついた。 ・保護者への発信やアンケートの実施等についてtetoruやFormsの活用を進めることができた。	課題	・体力テストで東京都の平均を上回った項目が少なかった。 ・生徒用デジタル教科書などデジタル教材の活用に課題が残った。 ・ボランティア活動にさらに多くの生徒に参加してほしい。

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	達成度		「中間」 自己（学校）評価(A～D)		「中間」 学校関係者評価(A～D)		「年度末」 自己（学校）評価（A～D）		「年度末」 学校関係者評価（A～D）		次年度に向けた改善案
				９月	２月	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	
学力の向上	ALTを活用した英語教育の推進	・ALTによる全ての英語の授業での指導 ・ALTによる全校生を対象とした英会話教室の実施	・英検の受検率・合格率を20%向上させる。											
	主体的・対話的な授業	各教科の授業で、主体的・対話的な取組を行い、生徒の深い学びを実現する。	・全国学力調査で英語・数学のC・D層の割合を40%以下にする。											
	外部機関との連携による学力の向上	・放課後補習教室の効果的な活用 ・受験対策講座の実施	保護者学校評価で、「きめ細やかな補習」に70%以上の肯定的な評価。											
	○読書科の更なる充実	・文献やPCを活用して探究的な学習を実施し、発表を行う。	年間に１度以上全学年でまとめ・発表までを実施する。											
体力の向上	運動意欲や基礎体力の向上	・体育の授業で毎回補助運動を行い、基礎体力の向上を図る。	・体力テストで区内平均より３ポイント以上上回る。											
	運動習慣の向上	・朝運動を実施し、運動習慣の確立をめざす。	・年に２回朝運動週間を設定する。											
共生社会の実現に向けた教育の推進	特別支援教育の推進	・特別支援委員会を中心に支援が必要な生徒への対応策を検討し、実行する。	・特別支援委員会を毎月２回以上行い、対応策を検討・実行する。											
	ＳＤＧｓへの取組	・生徒会を中心にボランティア活動に取り組む。	・江戸川土手清掃等地域のボランティア活動の機会を年５回以上つくる。											
	ハワイ州ホノルル市の中学校との姉妹校交流	・Ewa Makai校と姉妹校としての交流を深める。	・Ewa Makai校との直接的な交流を学期に１度以上行う。											
不登校・いじめ対応の充実	エンカレッジルームの活用促進	・エンカレッジルームを活用して、不登校対策を進める。	・エンカレッジルールを通して登校につなげる生徒数を増加させる。											
	関係諸機関との連携	・ステップサポーター・スクールカウンセラー・児童相談所・SSW等と連携して取り組む。	・関係諸機関とのつながりがない生徒をゼロにする。											
	いじめ防止の推進	・年間３回のいじめアンケートの実施といじめへの早期対応・早期解決を進める。	・いじめの未解決をゼロにする。											

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	達成度		「中間」 自己（学校）評価(A～D)		「中間」 学校関係者評価(A～D)		「年度末」 自己（学校）評価（A～D）		「年度末」 学校関係者評価（A～D）		次年度に向けた改善案
				９月	２月	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	
地域社会に開かれた学校（園）の実現	自校の取組の積極的な発信	・学校ホームページの充実 ・tetoruの活用の推進	保護者学校評価で、「学校の情報を積極的に発信」が７０％以上となる。											
	小・中連携教育の充実	小学校が本校を訪問する取組と本校教員が小学校を訪問する機会を作り、交流を深める。	小学校との年に２回の直接の交流を実施する。											
特色ある教育の展開	デジタル技術の活用	・デジタル教科書やICTのツールなどを活用して授業を行う。	教員の80％以上が「授業で積極的にICTを活用」とする。											
	教員研修の充実	東京都や江戸川区の教員研修プログラムを活用して研修を実施する。	都や区の教育委員会による授業力向上等の研修を年に２回実施する。											
	部活動の地域移行の推進	部活動の地域移行に向けて、外部指導員による指導を推進する。	区教育委員会や関連部署との連携を進め、年に３回の協議会を行う。											
	学校における働き方改革プラン	教職員の働き方の見直しを進め、長時間労働の是正に取り組む。	・月の超過勤務時間が４５時間以内の教職員を60％以上にする。											